

患者の皆様へ

2024年5月15日

消化器内科

現在、消化器内科では、「原発性肝細胞癌の治療経過および予後因子」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では肝細胞癌の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「原発性肝細胞癌の治療経過および予後因子に関する研究」

2. 研究の意義・目的

「初発細胞癌と診断され治療あるいは経過観察を行った患者様における転機および予後を明らかにする」

3. 研究の方法

「2003年1月から2024年4月までに当科で初回治療が行われた肝細胞癌患者様を対象として、診療録に記載されている患者さんの検査データ（採血結果、画像検査）などを過去に遡って照査する」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院消化器内科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. National Clinical Database (NCD) への提供について

本研究で得られた臨床データの一部を、National Clinical Database (NCD) へ提供いたします。その際に、個人が特定されないように匿名化の上、データを登録いたします。

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院消化器内科

本件のお問合せ先：医学部附属病院消化器内科

医師 加藤直也

043(222)7171 内線5241(医局)